

1 事業の成果

同性愛者や性同一性障害など性的マイノリティの人たちが恒常的に集えるコミュニティスペースを常時（週4日・年間述べ177日）オープンし専門のスタッフが常駐していることにより、そこがハブとなり、行政・教育などと連携が図れ、講演をはじめ様々な事業の増加にもなっている。

(1) 健康支援

HIV 即日検査・カウンセリング・電話相談など総合的なサポート体制により、心と身の健康支援を実施。HIV 性感染症検査（受検者139名）においてはHIV(+)1件、梅毒TPHA12件、B型肝炎0件の陽性者を医療機関につなぐことができた。

また、カウンセリング事業は年間67日実施し、延べ相談件数151件の相談を実施した。

電話相談事業「SHIP ほっとライン」においても、29年度170件、30年度は169件と、相談件数は横ばいであったが、令和元年度は203件と突出した。

(2) コミュニティ支援

性的マイノリティが自由に集える交流スペースを週4日間、年間177日間オープンし、289名の利用があった。年齢別では、10代63名（22%）、20代100名（35%）、30代82名（28%）、40代30名（10%）、50代以上14名（5%）と10代から30代が全体の85%を占めている。

グループミーティングは、セクシュアリティや年齢別に7種類、52回開催し、参加者数は述べ252名であった（当初の予定では、年間62回の予定であったが、台風や新型コロナウイルスの影響により6回のイベントが中止となった）。

また、行政との連携により、横浜市においては交流スペースを24日間開設、神奈川県においてはグループミーティングを30回開催、横須賀市においてはグループミーティングを12回開催した。

(3) 性的マイノリティの人権擁護に関する一般社会への啓発

教育機関・行政と連携を長期間持続している成果として、講演の回数は134回であった。（前年度は138回）。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 健康支援事業

ア HIV/AIDS 等性感染症の検査の実施（厚生労働省エイズ対策研究事業）

- ・ 内 容 HIV・性感染症検査（即日検査）
- ・ 日 時 毎月1回 月曜日、受付時間 17:40～20:00（終了22:00）
- ・ 場 所 かながわ県民センター
- ・ 従事者人員 延べ59人（医師、看護師、検査技師、事務）
- ・ 受益対象者 県内および首都圏に住むゲイ・バイセクシュアル男性139人
- ・ 支 出 額 843,249円

イ 相模原市臨時検査広報・予約受付業務（相模原市保健所委託事業）

- ・ 内 容 臨時検査の広報、予約受付、相談員の派遣業務
- ・ 日 時 12月1日
- ・ 場 所 さがみはら Buono!
- ・ 従事者人員 3人
- ・ 受益対象者 20人

- ・ 支 出 額 68,988 円

ウ カウンセリングによるメンタルヘルス支援

- ・ 内 容 希望者に対しての対面面接による問題解決支援
- ・ 日 時 隔週金曜 14 時～20 時、隔週土曜 12 時～17 時、隔週水曜 17 時～20 時 (計 67 回)
- ・ 場 所 横浜 AIDS 市民活動センター (中区尾上町 3-39 尾上町ビル 9 階)
- ・ 従事者人員 延べ 67 人 (臨床心理士)
- ・ 受益対象者 来談者 延べ 151 人
- ・ 支 出 額 481,131 円

エ ホットラインによるメンタルヘルス支援

- ・ 内 容 電話相談
- ・ 日 時 毎週木曜 19 時～21 時 (2 時間)
- ・ 場 所 特定非営利活動法人 S H I P の事務所
- ・ 従事者人員 延べ 76 人
- ・ 受益対象者 相談成立 延べ 203 名
- ・ 支 出 額 354,072 円

オ 横浜市個別相談支援 (横浜市委託事業)

- ・ 内 容 臨床心理士による無料の対面相談
- ・ 日 時 4 月～3 月までの期間 計 24 回
- ・ 場 所 横浜市内 (横浜市青少年相談センター、西区福祉保健活動拠点「フクシア」)
- ・ 従事者人員 延べ 24 人
- ・ 受益対象者 延べ 21 人
- ・ 支 出 額 946,868 円

カ 神奈川県派遣相談 (神奈川県委託事業)

- ・ 内 容 臨床心理士など専門相談員の派遣相談
- ・ 日 時 4 月～2 月までの期間 計 36 回
- ・ 場 所 県内 (学校や公共施設)
- ・ 従事者人員 延べ 36 人
- ・ 受益対象者 延べ 36 人
- ・ 支 出 額 214,999 円

キ 横須賀市派遣相談 (横須賀市委託事業)

- ・ 内 容 臨床心理士など専門相談員の派遣相談
- ・ 日 時 4 月～3 月までの期間 計 4 回
- ・ 場 所 県内 (学校や公共施設)
- ・ 従事者人員 延べ 4 人
- ・ 受益対象者 延べ 4 人
- ・ 支 出 額 19,776 円

② コミュニティ支援事業

ア コミュニティスペースの運営

- ・ 内 容 性的マイノリティが恒常的に集える場所としてコミュニティスペース「SHIP にじいろキャビン」を開設し、情報の提供や相談を実施する。

- ・日 時 毎週水・金・土曜 16:00～20:00、日曜 14:00～18:00 延べ177日
- ・場 所 特定非営利活動法人SHIPの事務所
- ・従事者人員 210人
- ・受益対象者 県内および首都圏に住む性的マイノリティ 延べ289人
- ・支 出 額 2,629,784円

イ グループミーティングの開催

- ・内 容 性的マイノリティやその家族が交流できるグループミーティングを開催。
- ・日 時 4月7日～2月29日の期間 52回
- ・場 所 かながわ県民センター、神奈川県内公共施設等
- ・従事者人員 延べ108人
- ・受益対象者 県内および首都圏に住む性的マイノリティ、およびその家族 延べ252名
- ・支 出 額 1,169,843円

ウ 横須賀市交流会の運営(横須賀市補助事業)

- ・内 容 横須賀市における10代・20代を対象としたグループミーティングの開催
- ・日 時 4月21日～3月1日の期間 12回
- ・場 所 横須賀市内、公共施設
- ・従事者人員 延べ24人
- ・受益対象者 横須賀市とその周辺地域の性的マイノリティ 延べ31人
- ・支 出 額 415,837円

エ 横浜市交流スペースの運営(横浜市委託事業)

- ・内 容 性的マイノリティの交流スペースの運営
- ・日 時 4月～2月までの月2回(計22回)
- ・場 所 横浜市内(男女共同参画センター横浜)
- ・従事者人員 延べ44人
- ・受益対象者 延べ95人
- ・支 出 額 914,776円

オ 神奈川県交流会の運営(神奈川県委託事業)

- ・内 容 性的マイノリティの交流会の運営
- ・日 時 5月11日～2月16日の期間 月1回(計30回)
- ・場 所 藤沢市内、厚木市内、小田原市内の公共施設
- ・従事者人員 延べ60人
- ・受益対象者 延べ56人
- ・支 出 額 533,356円

③ 性的マイノリティの人権擁護に関する一般社会への啓発事業

ア 一般社会への啓発事業

- ・内 容 多様な性的マイノリティの可視化および人権擁護の意識を高める。特に学校や社会生活を送るうえでの困難について重点的に扱う。
- ・日 時 4月～3月まで、延べ138回
- ・場 所 小中学校、高等学校、大学、行政施設、公共施設など
- ・従事者人員 延べ238人
- ・受益対象者 県内の学校教職員・生徒・学生、行政関係者、一般市民 延べ8,300人
- ・支 出 額 3,224,242円

イ 横浜市啓発事業

- ・内 容 性的マイノリティの理解に向けた啓発イベントの実施。
- ・日 時 12月21日
- ・場 所 みなとみらい線 日本大通駅
- ・従事者人員 延べ4人
- ・受益対象者 一般市民 延べ500人
- ・支 出 額 277,014円